

どうして避難訓練をするの？

対象児：さくら組

作成者：大石京香

作成日：2022年9月15日

ねらい：みんなでしっかり意識出来るように確認し、避難訓練の大切さを知る。



振り返り:9月1日は防災の日ということで、毎月園でも取り組んでいる避難訓練について子ども達と話し合いました。月に1回の避難訓練の後に「おはしも」の約束を確認し合い、どうして避難訓練をするのかという問いかけに「もし地震や火事になった時にすぐに逃げられるようにする為」という声が聞かれました。そして、机の下にもぐるのはどうして？防災頭巾をかぶるのはどうして？シューズを履いて避難するのはどうして？と一つ一つ子ども達と考えながら紙芝居を通して3つの行動の大切さを学びました。毎月当たり前のようにしていることでしたが、防災の日をきっかけに避難訓練の意味が分かり、みんなで意識出来るように活動を重ねながら過ごしていきたいと思います。また、災害についての話もしました。まだ難しい様子でしたが、火事や地震、台風などいろいろな災害があるということを知り、どの災害も「起こったら怖い」ということが感じられたようでした。命は一つしかないから自分の命を守れるように知っておくことも大切だと思い、今日のこの話が少しでも伝わっていたらと思います。この話をした次の日に遊びで準備していた画用紙を使ってスリッパを制作する姿が見られ、「何で作ったの？」と聞くと「シューズがなかった時の代わりだよ」という返事を聞き、昨日話したことが子ども達の心の中に残っているんだなと感ずることが出来ました。また、絵本や紙芝居を通してみんなで話し合ったり、確認し合ったりすることをこれからの保育の中でも大切にしていきたいと思います。(協同性、道徳性・規範意識の芽生え、社会生活との関わり、思考力の芽生え、自然との関わり・生命尊重)